

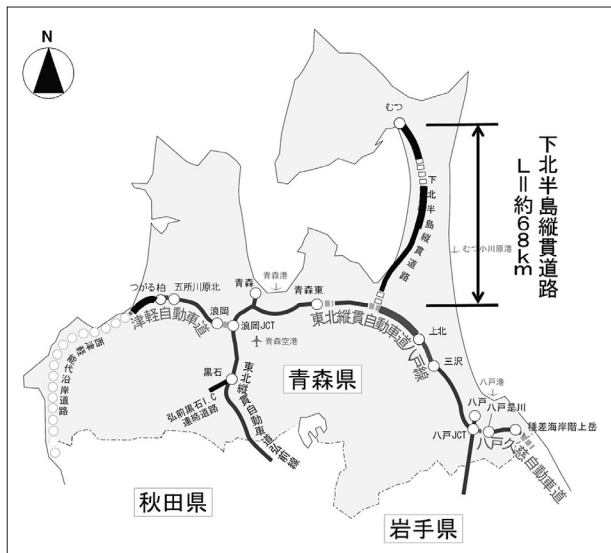
## —青森県—

## 下北半島縦貫道路現場見学会について

## 1. はじめに

下北半島縦貫道路は、青森県の下北地方生活圏の中心都市である「むつ市」と東北縦貫自動車道八戸線を結び、下北・南部・青森の各地方生活圏の地域間連携強化、下北地方の産業などの発展を支援することを目的に、平成7年度から地域高規格道路として青森県が整備を進めている。

平成30年4月現在、計画延長約68kmのうち25.3kmが供用済、26.1km（3工区）が事業中となっている。



青森県高規格道路・地域高規格道路ネットワーク図

## 2. 「下北未来塾」

平成17年8月、下北半島縦貫道路は下北地域の生活に必要な社会資本であり、その熱意を地元地域から発信することが重要であるとの思いから、むつ市在住の女性有志が集まり、「下北未来塾」が結成された。今回の見学会は「下北未来塾」が中心となって企画されており、現在、塾長の清川わかさんをはじめ13名で構成されている。「下北未来塾」は、地元での署名活動やシンポジウムの開催により、地域一体となった整備促進の機運醸成に大きな役割を担うほか、「全国みちづくり女性団体交流会議」への出席や、Facebookを活用して地域の想いを発

信する等、多岐にわたって活動を展開している。

また、道路事業に対する知識と理解を深める取り組みとして、定期的に現場見学会を開催している。

## 3. 現場見学会

今年度開催された現場見学会には、塾生6名のほか、将来を担う地元の高校生が13名参加し、下北半島縦貫道路事業や施工中の工事現場の概要や工事現場における熱中症対策状況などの説明を受け、その後、全員で現在施工中の現場（舗装工事）を歩いた。

参加者からは、「完成するのはいつですか?」、「路肩の（衣土）土の色が赤いのはなぜですか?」などの質問が出され、県の担当者や現場代理人との意見交換がなされた。



施工中の現場で現場代理人の説明に耳を傾ける参加者

## 4. おわりに

「下北未来塾」では平成18年度から毎年秋に（今年は10月20日(土)）「下北半島縦貫道路と地域振興」を基調としたシンポジウムを開催している。

今年は、現場見学会に参加した生徒達に意見発表をしていただく予定にしている。

今後も、地域の応援団である「下北未来塾」の元気な活動に劣らぬよう、下北半島縦貫道路の整備に取り組んでいきたいと思う。

（青森県 県土整備部 道路課 整備推進グループ  
主幹 細川 敦啓）